

「道」のデジタル化の進捗

中村 淳

報告の内容

- ▶ 「道」のデジタル化について
- ▶ デジタル化の作業
- ▶ 「道」の記事の紹介
 - ▶ エピソードをご存知の方はコメントをお願いします
- ▶ DVDの頒布予定

「道」のデジタル化について

- ▶ RCTC のデジタル アーカイブ作業
 - ▶ アルバム写真のデジタル化（創立 60 周年時に完成）
 - ▶ 「道」のデジタル化（今回の取り組み）
- ▶ 「道」のデジタル化のメリット
 - ▶ 物理的劣化から守る
 - ▶ 数 10 年経過した紙はもろくなり，割れることがある
 - ▶ 紙が茶色に変色する（紙焼け）
 - ▶ 印刷されたインクが薄くなる（退色）
 - ▶ 省スペース化
 - ▶ すべての「道」（厚さ 50 cm）を DVD やメモリーに入れて持ち運べる
 - ▶ 検索できる（テキスト入力した場合）
 - ▶ キーワードで検索すると，すぐに目的の場所にたどり着ける

デジタル化の作業 (1)

- ▶ 「道」の入手
- ▶ スキャン画像にするか，テキスト入力にするか
 - ✓ 「道」をスキャンして画像として pdf 化する（採用）
 - 「道」の内容をテキスト文書におこす．図・絵はスキャンして合体し pdf 化する（見送り）
- ▶ 画質を改善して記録するか，現状画質で記録するか
 - ✓ 画質を改善（レタッチ）して記録する（可能な限り採用）
 - ✓ 現状の画質のまま記録する（残りで採用）
- ▶ スキャン
 - ▶ 原稿送り装置付きとフラットベッド型を併用
 - ▶ モノクロ印刷物もカラーでスキャンした（紙焼けの修正のため）

デジタル化の作業 (2)

- ▶ レタッチ (retouching)
 - ▶ 画像を修正／編集すること。Photoshop による
 - ▶ 位置ずれ・歪みの修正
 - ▶ 紙焼けの修正
 - ▶ 文字の退色・かすれの修正
 - ▶ にじみ・汚れの修正
 - ▶ カラー画像をモノクロ画像に変換
- ▶ 全ページの画像を pdf 化
 - ▶ Acrobat Pro による

デジタル化の作業 (3) — レタッチの例 (1)

(25)

クラブ存在について

二年 岡 武典

次の事を述べるのを許して頂いて、他の返答、意見を待ち、我がクラブの発展としたい。まず我がクラブは、非常な広がりを持つて活発に発展している反面、サークルを指導すべき理論と運営の研究へ上部のみならず全員による、があまり活発に行われず我がクラブの活動家達をして、低迷せしめて、今や、単なる経験だけで運営出来得る段階を通過して我々の求めるものは、明確なるサークル運動の理論ではないか。しかし我がクラブは独自の性格、つまり、身体的性質と文化活動的要素の両面を含んで、困難であるのも事実であるが、それが為すべしか、つまり我がクラブの存在意義について考えるべきではあるまいか。勿論、これは上部層により当然為されてはいるが、全員で考えよう。特に、二年生について

自分のクラブだと自覚して考えてもらいたい。我がクラブは明白にサークル活動の一端であるという事は当然であり、サークルは何かを考へると、沢山のサークル活動家や指導者が言う如くに、現在それは、人間性解放の場としての意義を持ち、話し合いや趣味を通じ人間性解放をやらうという文化団体であると言えるし、又サークル運動とは、その具体的行動と言えるであろう。しかし人間性の解放を目指すか、これは行われれば、その意味は何か。これは「自分」がどんな人間であるかをつかみ、自己をどう生かすか、どう生きようか、どう考へよう。又我々学生は、学生として、と言えよう。しかしこれは個人では難い。又各人の立場や考へ方が同一でない所に、むしろ話し合え研究出来てこそ望ましく、ここに必然的にサークルが要求される。上記の場としての意義を持つようになる。しかしこれへの過程として、戦争中における日本人の人間としての尊厳の無視より出発して、...を語すべきであるが紙面が許さぬので、各人の考へにまかそう。上記の様で考へれ

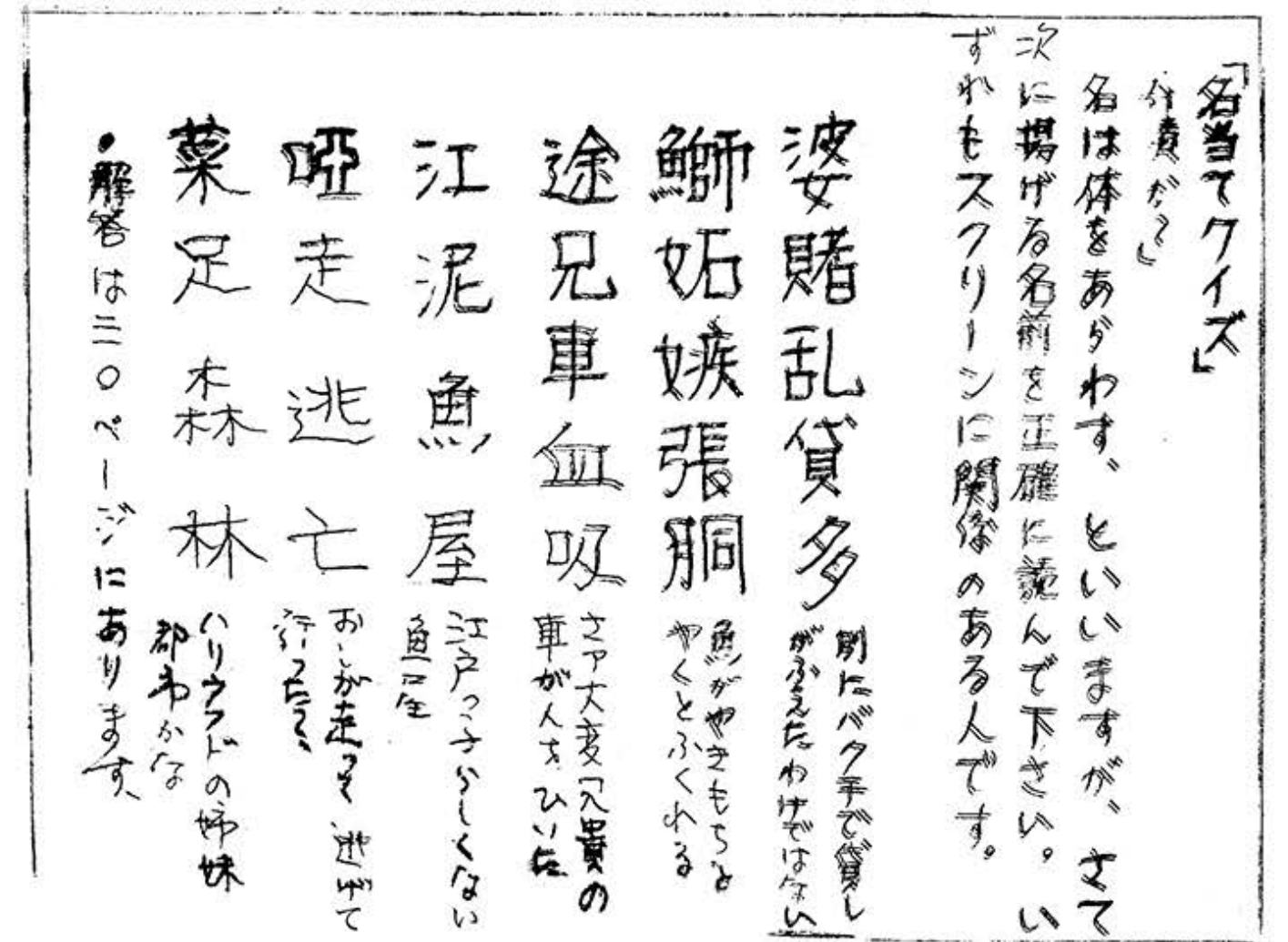
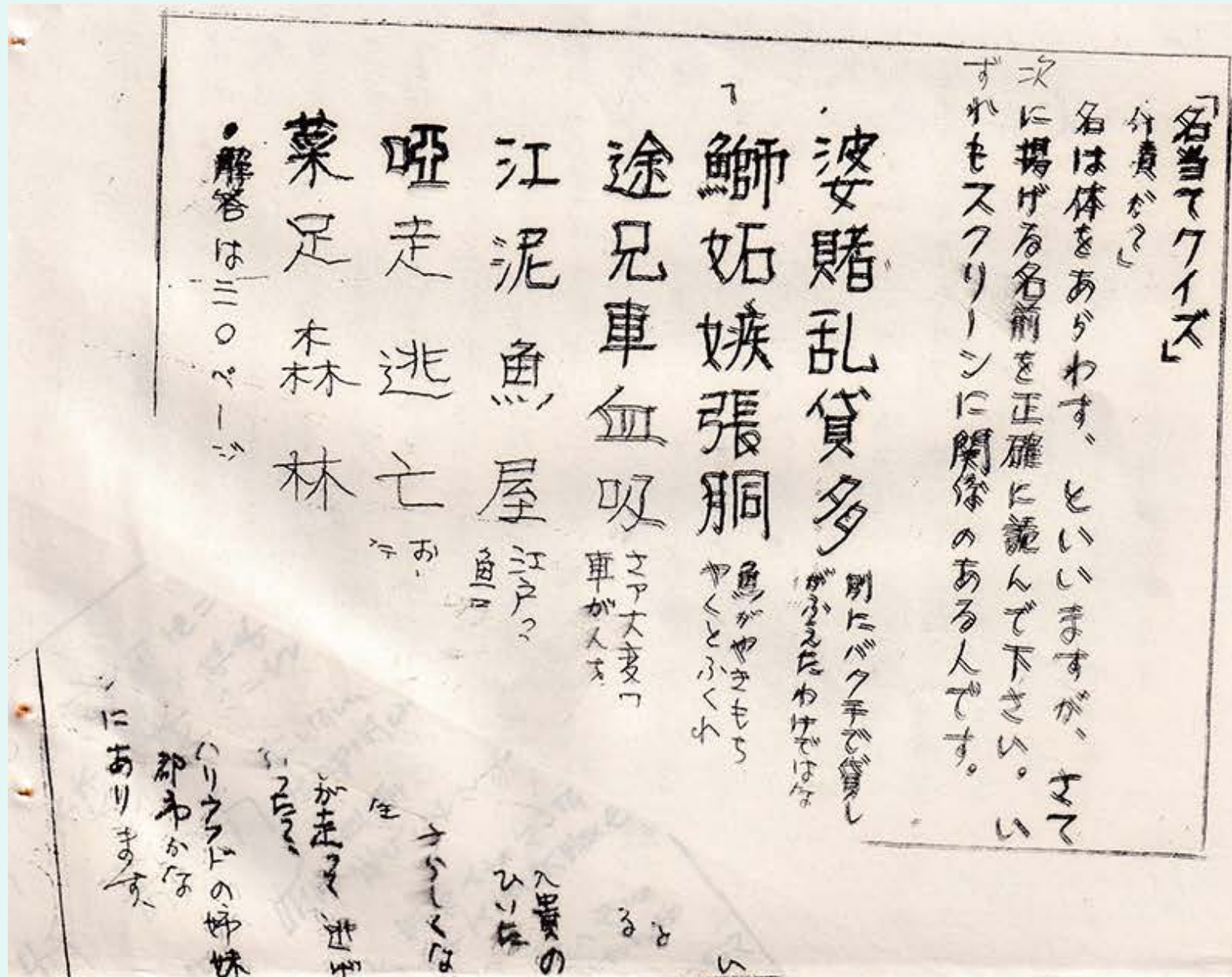
クラブ存在について

二年 岡 武典

次の事を述べるのを許して頂いて、他の返答、意見を待ち、我がクラブの発展としたい。まず我がクラブは、非常な広がりを持つて活発に発展している反面、サークルを指導すべき理論と運営の研究へ上部のみならず全員による、があまり活発に行われず我がクラブの活動家達をして、低迷せしめて、今や、単なる経験だけで運営出来得る段階を通過して我々の求めるものは、明確なるサークル運動の理論ではないか。しかし我がクラブは独自の性格、つまり、身体的性質と文化活動的要素の両面を含んで、困難であるのも事実であるが、それが為すべしか、つまり我がクラブの存在意義について考えるべきではあるまいか。勿論、これは上部層により当然為されてはいるが、全員で考えよう。特に、二年生について

自分のクラブだと自覚して考えてもらいたい。我がクラブは明白にサークル活動の一端であるという事は当然であり、サークルは何かを考へると、沢山のサークル活動家や指導者が言う如くに、現在それは、人間性解放の場としての意義を持ち、話し合いや趣味を通じ人間性解放をやらうという文化団体であると言えるし、又サークル運動とは、その具体的行動と言えるであろう。しかし人間性の解放を目指すか、これは行われれば、その意味は何か。これは「自分」がどんな人間であるかをつかみ、自己をどう生かすか、どう生きようか、どう考へよう。又我々学生は、学生として、と言えよう。しかしこれは個人では難い。又各人の立場や考へ方が同一でない所に、むしろ話し合え研究出来てこそ望ましく、ここに必然的にサークルが要求される。上記の場としての意義を持つようになる。しかしこれへの過程として、戦争中における日本人の人間としての尊厳の無視より出発して、...を語すべきであるが紙面が許さぬので、各人の考へにまかそう。上記の様で考へれ

デジタル化の作業 (4) — レタッチの例 (2)



デジタル化の作業 (5) — レタッチの例 (3)

吹きだまりのような大都会で、そんな芸当
 ができまじょうか。
 だがさ、僕は、旅に出ます。
 たとえ一瞬間でも、大自然の中で故郷た
 ど、ぶりっかりたり、そんなわけ、僕は
 自転車に、乗ることを自体に、意義を求めた
 り、救済的なことをするのは、あまり好き
 ではないのです。
 あくまでも旅の手段として、自転車を使
 ったのです。
 「た」た、旅研にでも行けり、などという
 イヤミは、言わないで下さい。
 僕は、自転車が好きなのです。

長谷川 伸

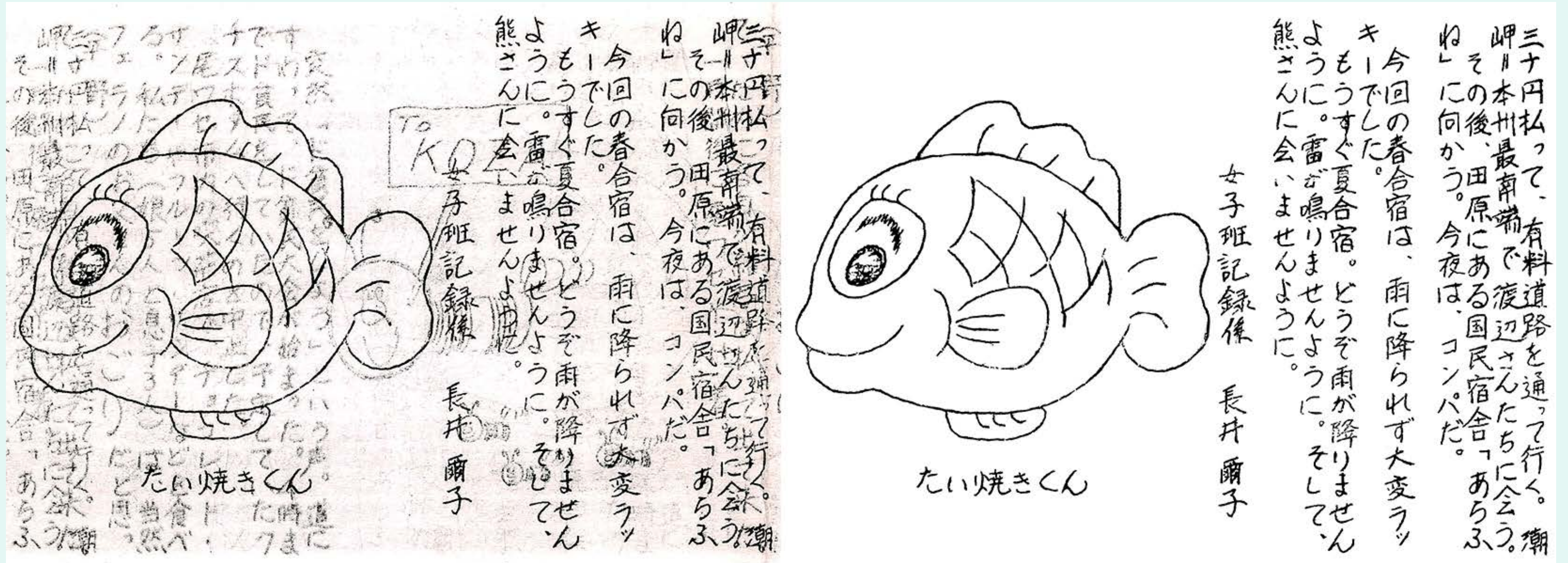
新組合で、無事終って、やつとつらづ
 慣れて来ました。合宿の思い出もま
 たいので、今日は、自己紹介をした
 と思います。私の生るれは、東北で、
 青森は、東京です。家は、西武新宿線、高
 田馬場から、目の前、創立家政という所
 あります。出身校は、要名高き。○高校で
 す。鬼名高きだけあって、授業はさぼる
 たまに、授業に出れば、眼もさうい、た

吹きだまりのような大都会で、そんな芸当
 ができまじょうか。
 だがさ、僕は、旅に出ます。
 たとえ一瞬間でも、大自然の中で故郷た
 ど、ぶりっかりたり、そんなわけ、僕は
 自転車に、乗ることを自体に、意義を求めた
 り、救済的なことをするのは、あまり好き
 ではないのです。
 あくまでも旅の手段として、自転車を使
 ったのです。
 「た」た、旅研にでも行けり、などという
 イヤミは、言わないで下さい。
 僕は、自転車が好きなのです。

長谷川 伸

新組合で、無事終って、やつとつらづ
 慣れて来ました。合宿の思い出もま
 たいので、今日は、自己紹介をした
 と思います。私の生るれは、東北で、
 青森は、東京です。家は、西武新宿線、高
 田馬場から、目の前、創立家政という所
 あります。出身校は、要名高き。○高校で
 す。鬼名高きだけあって、授業はさぼる
 たまに、授業に出れば、眼もさうい、た

デジタル化の作業 (6) — レタッチの例 (4)



「道」の記事から：創立～1960年代は意識が高かった

▶ 当面の問題（1961年2号，福山尚雄さん）

- ▶ 「我々は過去5年間に築きあげられたものをただ継承するだけでなくそれを分析し充実発展させなくてはならない。そのために部の終局目的をまずはっきりさせたい。つまり活動理論の確立である。……しっかりとした目的もなく，単に『乗る』だけでは今後長く続くだろうか」

▶ 合宿と聖書（1967年20号，太田道夫さん）

- ▶ 「合宿とは肉体及び精神の鍛錬の場であると共に，共同生活の体験の場でもある。従ってわがクラブのサイクル キャンピングによる合宿は単なる集団旅行と目的を異にしている。合宿に於いては苦難は必然である……（なぜなら）それが自己及び共同体の向上をもたらすからである。……つまり平素の能力を10とすると合宿時は15にも16にもしなければならぬのである。故に合宿はつらくなかろう筈がないのである」

「道」の記事から：サイクル キャンピング

- ▶ 1960年代のキーワードは「サイクル キャンピング」
- ▶ 1965年11号：立教祭の発表「サイクル キャンピングの追求」を特集
 - ▶ 大学サイクリングクラブ特有の大人数でのサイクル キャンピングのコース設定のしかた、作業の段取りなどを解説
- ▶ 背景：時代の困難さ
 - ▶ 装備（寝袋，衣類，テント，調理器具，コンロ...）がかさばり，重かった
 - ▶ キャンプサイトが限られ，今ほど整備されていなかった
 - ▶ 大人数キャンプのため，設営・食購・調理が手間どった
 - ▶ 道路事情が悪かった（走行距離は1日40–70 km）

「道」の記事から：聖書

- ▶ キャンピングに思う（1962年3号，柳沢安夫さん）
 - ▶ 「朝食前の聖書の時間に聖書を忘れて来ていた者が半数近くもいた事は何ととっても怒ってよいやらわからない位に腹が立つ。……反省を求める」
- ▶ 合宿と聖書（1967年20号，太田道夫さん）
 - ▶ 「そのような緊張から立ち返る契機が聖書購読と黙想である。……訓練を主体とする合宿では，聖書を読むという価値が……高いのである。何故なら苦難は安寧を必要とし，斗争は平安を必要とするからである」

「道」の記事から：ガリ版からコピーへの移行と大冊化 (1)

▶ 1980年代後半には、長く続いたガリ版印刷からコピーに移行していく

▶ 「道」についてのアンケート結果（1986年87号）

▶ 印刷方法は何がよいか

ガリ版 片面印刷：8 ガリ版 両面印刷：5 全コピー：7 ワープロ：6

- ・ガリ版，片面印刷で十分読める．手間はかかるが，がんばってこれでやってほしい
- ・ガリ版，両面印刷はきたない．読みにくい
- ・全コピーが一番望ましい．でもコストの問題から，卒業特集など特別号に限るべき
- ・予算と技術が許せばワープロで
- ・ワープロ作成は望ましいが，編集作業が大変
- ・ワープロ作成はコストもかかるし，血の通った暖かさが感じられないのでいやだ
- ・表紙をリトグラフ（石版画）でつくるのはどうか
- ・グラビアページもつけよう．もちろん活字印刷で

「道」の記事から：ガリ版からコピーへの移行と大冊化 (2)

▶ 内容について

今のままでよい：9 自転車以外の記事を増やす：9 プライベートランを増やす：8

- ・ 役立つ連載記事があればよい
- ・ 文章ばかりではおもしろくない
- ・ 過去のさまざまな記録を特集したらよい
e.g. 歴代三国タイム, 珍記録, ユニークな班別ラン, 最も数の多かった班別ラン, etc.
- ・ おもしろおかしい読み物と詳しいコース紹介を
- ・ 資料として使えるように

▶ コピーへの移行によって変わったこと

- ▶ 編集係の手間が激減し, 採用原稿の基準が緩和された. 写真付き投稿が可能になった
- ▶ 「記録・メッセージ」タイプの記事以外に, 「内輪で受ける小嘶」タイプの記事が増えた
- ▶ 「受ける」から, 積極的に投稿するようになる
- ▶ 全ページがコピーになると片面印刷の袋とじにする必要がなくなり, 両面印刷になった
- ▶ その結果, 1990年頃からボリュームは100ページを超えるようになった

「道」の記事から

- ▶ ご存知の方，コメントを
 - ▶ 道路事情
 - ▶ アルプスの広告
 - ▶ OB の投稿，現役と OB の関係
 - ▶ 随筆
 - ▶ 国鉄の長距離夜行列車
 - ▶ 三国ヒルクライム
 - ▶ 直江津－東京ラン

DVD の頒布予定

- ▶ デジタル化した「道」はDVDに収めて、2020年2月にRCTC OB/OG会のみなさまに実費で頒布する予定です（予価¥1,000. 送料込）
詳細はホームページ上で告知します
- ▶ このDVDに収録されている制作物の著作権はRCTC OB/OG会に帰属します
個人的な使用を超える取り扱いにはご注意ください
これらの制作物には会員の個人情報が含まれています
個人の特典できる情報をその個人に無許可でSNSなどに公開した場合は、
プライバシー権の侵害に問われることがあります

立教大学校歌「栄光の立教」

芙蓉の高嶺を雲井に望み
紫匂える武蔵野原に
いかしくそばだつ我等が母校
見よ見よ立教 自由の学府

愛の魂正義の心
朝に夕べに鍛えつ錬りつ
邦家に捧ぐる我等が母校
見よ見よ立教 自由の学府

星経る幾年伝統うけつ
東西文化の粹美をこらし
栄光輝く我等が母校
見よ見よ立教 自由の学府

R.C.T.C.

since 1957



Rikkyo
Cyclists'
Touring
Club

Nov., 30, 2019